

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立石井小学校

本校では「地域に開かれ信頼される学校」をめざし、家庭や地域が一体となって児童を育てることが大切であると考えています。こうした考えから、平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果について以下のとおりお知らせいたします。この調査は文部科学省により全国一斉に行われているものです。この結果を、今後の学習指導の工夫・改善に役立ててまいりますので、今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

I 実施日 平成25年4月24日 **実施対象** 6学年児童

II 調査結果の概要と指導改善のポイント

教科	結果の概要	教科に対する児童の傾向	指導改善のポイント
国語	・知識を問う問題もそれを活用して考える問題も市・全国の平均を大きく上回っており、良好な結果であった。 ・相手の立場や状況を感じ取って聞いたり助言したりすることは特に良好で、目的や意図に応じて必要な内容を適切に引用して書くことを本校では課題ととらえている。	・国語の学習に関するすべての質問で肯定的に回答している児童の割合が全国の平均を大きく上回っている。 ・国語の勉強が大切であり将来役に立つと考えている児童がほとんどである。また、多くの児童が国語の授業の内容がよく分かると回答しており意欲的に取り組んでいる児童が多い。	・今後も学習の基礎である国語の力を付けるため国語の授業の充実を図る。 ・社会科や総合学習の中で、資料を読み取り目的や意図に応じて引用し、自分の言葉でまとめていく活動を意図的に取り入れ指導していく。
算数	・知識を問う問題もそれを活用して考える問題も市・全国の平均を大きく上回っており、良好な結果であった。 ・数量や図形についての技能は特に高いが、単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味の理解をさらに向上させたい。	・算数の学習に関するすべての質問で肯定的に回答している児童の割合が全国の平均を大きく上回っている。また算数の勉強が大切であり将来役に立つと考えている児童がほとんどである。 ・多くの児童が算数の学習が好きで新しい問題に出会ったとき解いてみたいと答えており、特に解き方が分からない時でも諦めずにいろいろな方法で考えようとする児童の割合が高い。	・今後も日常生活の中できめ細かな指導をし、朝の学習や家庭学習でさらに習熟を図っていく。 ・単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味の理解できるように数直線や面積図を用いて式と商の意味を考える活動の充実を図ったり、表を用いて解決の見通しを立てたりする活動の充実を図る。

III 生活に関する質問結果から

- ・ほとんどの項目で肯定的な回答が多かった。特に「早寝早起き朝ごはん」に関する肯定的回答は高い。
- ・「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「人の気持ちが分かる人になりたい」と回答している児童が90%を超えている。また、「自分にはよいところがある」「将来の夢や希望を持っている」「普段の授業で学級の友達と話し合う活動をよく行っている」と回答している児童も80%を超えている。
- ・学校での授業時間以外に勉強している児童の割合は全国平均と比べ高いが、家や図書館での読書時間は下回っている。

IV 家庭での協力をお願い

- ・身に付けるべき内容を確実に習得できるよう、家庭と連携を図って、家庭学習の習慣化や読書の推進などの取り組みを今後とも継続していく。